

# IR report

## 第77期 中間決算のご報告

2011年4月1日～2011年9月30日



*New Design*  
**PressPack**

**極東開発工業株式会社**

証券コード:7226



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年の3月11日に発生しました東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、2011年4月1日から2011年9月30日までの当社第77期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災という未曾有の大災害の影響により経済活動が一時急激に落ち込みました。その後は徐々に回復する場面も見られたものの、急激な円高の進行など景気の下振れ懸念もあり、先行き不透明感は依然として継続したまま推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Plan2010」の2年目として諸施策を着実に実行し、収益性の改善に積極的に取り組むなど企業体質の強化に注力いたしました。

主力の特装車事業につきましては、国内市場は震災の影響により4月から5月にかけてトラックの供給が困難な状況が継続しましたが、その後は徐々に回復し、夏以降においては震災に伴い生産が延滞していた車両の供給が正常化したことや、復興需要および自動車排出ガス規制強化前の中小型トラックの駆け込み需要が増加しました。環境事業につきましては、同じく震災の影響で、一部自治体の予算計画が見直されたことなどもあり、引き続き先行き不透明なまま推移しました。不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置の需要低迷などにより、厳しい受注環境が継続しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は特装車事業の受注改善などにより、2,021百万円（7.3%）増加して29,711百万円となりました。営業利益は売上高の増加などにより、540百万円（237.5%）増加して767百万円、経常利益は581百万円（322.1%）増加して762百万円、四半期純利益は

631百万円（564.8%）増加して743百万円となりました。

また今後につきましては、当連結会計年度中の稼働を目指し建設中のインド工場（MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED：アンドラ・プラデシュ州 ビジャヤワダ）をはじめとした海外事業の拡大や、国内は東日本大震災の一日も早い復興を支援すべく生産力の確保などにグループ一丸となって努めてまいります。

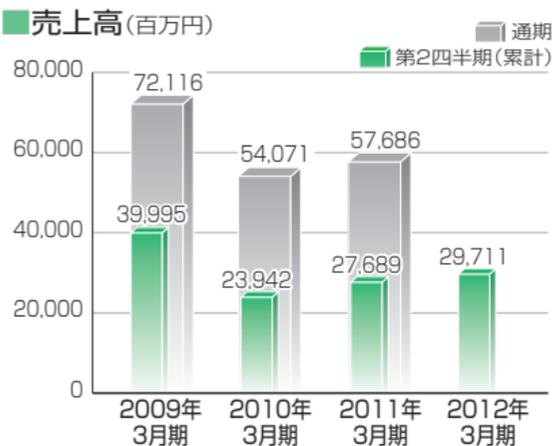
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

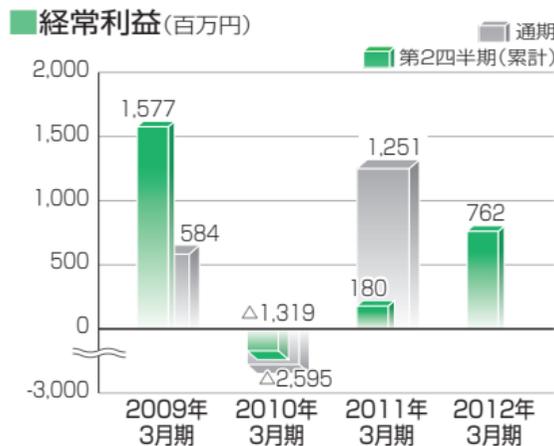
取締役社長 峯谷高明

## 連結業績ハイライト

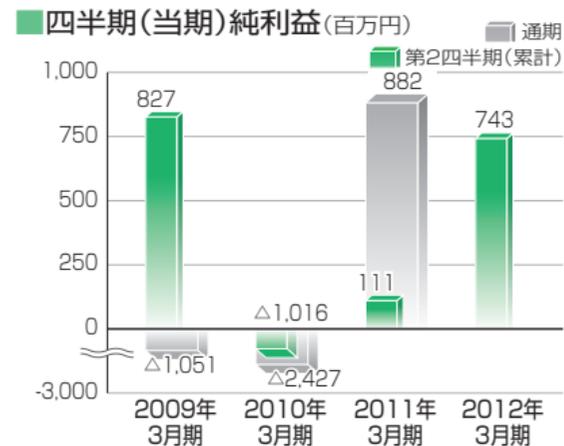
■売上高(百万円)



■経常利益(百万円)



■四半期(当期)純利益(百万円)



### 「ダンプアップ機構付 20フィートコンテナセミトレーラ」

グループ会社の日本トレクス株式会社はトレーラの新製品として、「ダンプアップ機構付 20フィートコンテナセミトレーラ エンジン仕様」を発売しました。

当新製品は、主に樹脂ペレットや穀物などの比重が軽い粉粒体を積載したコンテナ向けで、荷役作業の際、コンテナのみをダンプアップさせることが可能です。最大傾斜角45度までの上昇時間は約60秒です。また、ダンプアップ駆動用エンジンをトレーラ側に搭載することにより、PTO（パワーテイクオフ=動力取り出し機構）などの油圧装置が搭載されていないトラクタでもけん引および荷役作業を行うことができます。



### アーム式テールゲートリフター「パワーゲート®S1000」

最大許容リフト荷重を従来の最大800kgから1,000kgに、荷物を積載するプラットフォームの標準長さを850mmから1,000mmにそれぞれアップ。また、ステンレスケースを採用し防錆性能を高めたコントロールボックスと一体化させた低騒音タイプのパワーユニットを搭載しており、静かに昇降作業ができます。さらに、3mコードリモコンや荷物のぐらつき防止に効果的なブレーキバルブも標準装備。使いやすさにも配慮しました。



# アルミ跳ね上げ式簡易防水板「ザ・ガードバン」を新発売



水害時に屋内への浸水を防止する新製品として、アルミ跳ね上げ式簡易防水板を開発し、商品名「ザ・ガードバン」として発売しました。

新製品は、当社が永年に渡って培ってきたテールゲートリフター（商品名：パワーゲート<sup>®</sup>）のアルミブロックや製造ノウハウを生かした防水板で、近年地域を問わず急増している台風やゲリラ豪雨などの水害時に大切な資産を守ります。新築・既存の建物を問わず設置が可能で、起立操作は約20秒（当社試験値）。2つの動作で簡単に起立操作が可能のため、一刻を争う急な増水時に威力を発揮します。また、起立操作時の負担を軽減する補助スプリングや、収納操作時に防水板がゆっくり降下するショックレスダンパーなどを装備し安全性と操作性を考慮した設計となっているほか、余分な支柱が不要で設置場所の掘り下げ工事が浅いため、ローコストでの設置が可能です。

なお、販売はグループ会社である極東開発パーキング株式会社が担当します。当社グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、今後も新製品の開発および拡充に努めてまいります。



格納時



ショックレスダンパー

# KYOKUTOブランドの「はたらく車」～ごみ収集車～

ごみ収集車（塵芥車）には、車体の後部に積み込み装置がある機械式ごみ収集車（パッカー車）と、容積の大きいボデーを載せたダンプトラック（清掃ダンプ）があります。今回は主に機械式ごみ収集車についてご紹介します。



回転板式「2t パックマン®(CNG仕様)」

## どんな種類がある？

### 【積み込み方式】

機械式ごみ収集車にはプレスプレート（圧縮板）でごみを圧縮して積み込む、家庭ごみや不燃ごみ収集に適したプレス式と、回転板・押し込み板の2枚のプレートで積み込む、家庭ごみ収集に適した回転板式の2種類があります。

### 【排出方式】

ボデー内のごみを処理場で排出する方式には、押し出し式とダンプ式があります。

#### ●ごみの排出方式

押し出し式



ダンプ式



## 製造工場

当社の機械式ごみ収集車は三木工場（兵庫県三木市）で製造しています。

### 【三木工場概要】

操業：1979年8月

従業員数：124名（2011年9月30日現在）

主な生産品目：ごみ収集車・コンクリートポンプ車・タンクローリ・大型フックロール®等

## プレス式ごみ収集車の新製品

### 新型「4トン プレスパック®」

プレス式ごみ収集車「4トン プレスパック」を新型にモデルチェンジしました。

新製品は、美しく滑らかな曲線をテーマとしたサイドカバーや、インナーライドカバーの採用など、美観と機能性を両立したデザインに生まれ変わりました。また、PTOスイッチに連動して点灯し、夜間作業時の安全性の向上に貢献するLEDリヤフィニッシャーや、ボデーの剛性を向上させると共に溶接線のない美しく力強い外観を実現するボデーサイドスチフナ（補強柱）など、デザイン性および機能美に優れた装備を採用しました。



LEDリヤフィニッシャー  
(夜間作業時におけるイメージです。)



### 新型「2トン プレスパック®」

プレス式ごみ収集車「2トン プレスパック」の新型モデルを開発いたしました。

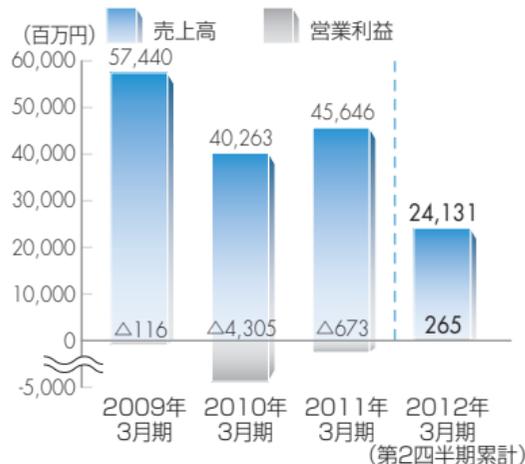
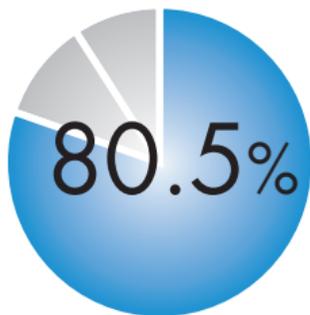
新製品は、従来の製品でご好評をいただいている充実の機能はそのままに、外装は曲線を多用したサイドカバーや、インナーライドカバーの採用など、美しく滑らかなスタイルに一新。また、溶接線がない美しく力強い外観を実現すると共に、ボデー剛性を高めるボデーサイドスチフナ（補強柱）をボデー上下部に採用するなど、デザイン性および機能美に一層の磨きをかけました。発売は2012年1月の予定です。



写真は電動式塵芥収集車「eパッカー®」仕様・オプション装着車。試作車のため、実際の車両と一部異なる場合がございます。

## ◆ 特装車事業

売上構成比



特装車事業につきましては、国内の市場環境は徐々に回復基調で推移しました。輸出は、急激な円高の進行により厳しい環境で推移しました。

このような状況のもと、当社は、国内につきましては復興需要および自動車排出ガス規制強化前の駆け込み需要に最大限対応すべく生産力の確保に取り組ましました。海外につきましては、インド工場 (MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED:アン



コンクリートポンプ車  
(ピストンクリート®PY100-30-S)

## 国内普通トラック登録台数の推移



ドラ・プラデシュ州 (ビジャワダ) の建設を進め、当連結会計年度中の稼働に向けた準備を推進しました。

この結果、売上高は1,459百万円 (6.4%) 増加して24,131百万円となりました。営業損益は、売上高が増加した結果、631百万円改善して265百万円の利益となり、黒字に転換いたしました。



2軸24kLアルミタンクセミトレーラ



脱着ボデー車  
(フックロール<sup>®</sup>JM10-53)



4tリヤダンプトラック

## ◆ 環境事業

### 売上構成比



破碎機 (極東・トレマッシュ®)



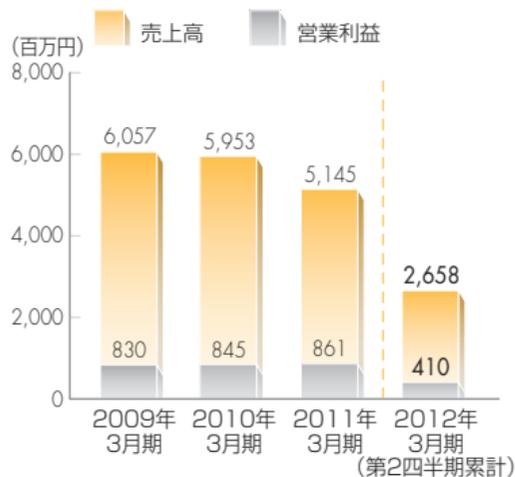
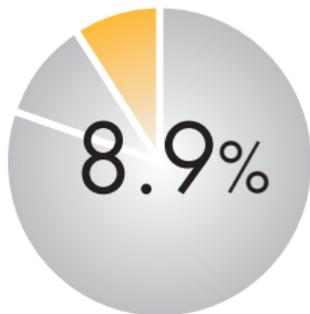
リサイクルプラザ (宗像市)

環境事業につきましては、国内では引き続きメンテナンス・運転受託に注力し、確実な利益の確保に努めました。また、昆山工場 (中国) に破碎機のデモラインを設置するなど海外展開の強化を図りました。

この結果、売上高は482百万円 (17.9%) 増加して3,183百万円、営業利益は38百万円 (11.9%) 減少して284百万円となりました。

## ◆ 不動産賃貸等事業

売上構成比



不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置のリニューアル事業やメンテナンス受注の確保に努めましたが、需要の低迷などにより引き続き厳しい環境で推移しました。

この結果、売上高は104百万円（4.1%）増加して2,658百万円となりました。営業利益はほぼ横ばいの410百万円となりました。



立体駐車装置（レントウパズル®HS40）



コインパーキング（P.ZONE®）

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2010年9月30日現在	当第2四半期 2011年9月30日現在	前 期 2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	44,422	44,590	44,277
固定資産	43,242	43,673	43,841
有形固定資産	35,589	34,510	34,954
無形固定資産	369	342	356
投資その他の資産	7,283	8,819	8,531
<b>資産合計</b>	<b>87,665</b>	<b>88,264</b>	<b>88,118</b>

科 目	前第2四半期 2010年9月30日現在	当第2四半期 2011年9月30日現在	前 期 2011年3月31日現在
<b>負債の部</b>			
流動負債	20,191	22,221	21,053
固定負債	15,343	12,613	14,172
<b>負債合計</b>	<b>35,534</b>	<b>34,834</b>	<b>35,225</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	52,076	53,312	52,727
資本金	11,899	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718	11,718
利益剰余金	30,602	31,838	31,254
自己株式	△ 2,145	△ 2,145	△ 2,145
その他の包括利益累計額	53	116	165
その他有価証券評価差額金	105	243	366
為替換算調整勘定	△ 51	△ 126	△ 201
<b>純資産合計</b>	<b>52,130</b>	<b>53,429</b>	<b>52,892</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>87,665</b>	<b>88,264</b>	<b>88,118</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

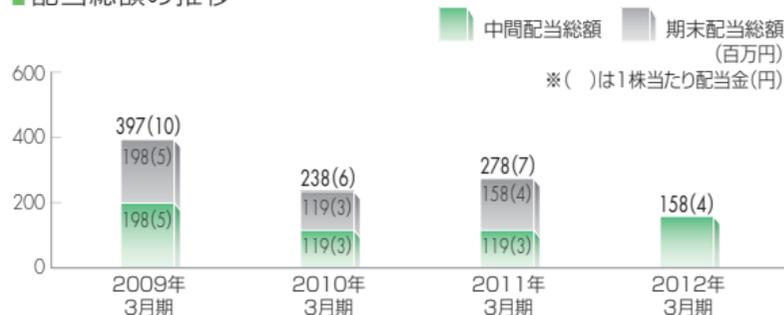
科 目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	前 期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	27,689	29,711	57,686
売上原価	22,821	24,103	47,177
売上総利益	4,868	5,607	10,509
販売費及び一般管理費	4,640	4,840	9,313
営業利益	227	767	1,195
営業外収益	292	279	551
営業外費用	339	284	495
経常利益	180	762	1,251
特別利益	91	17	155
特別損失	118	137	294
税金等調整前四半期(当期)純利益	153	642	1,112
法人税等合計	41	△ 101	229
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	111	743	882
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>111</b>	<b>743</b>	<b>882</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	前 期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	574	1,894	2,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 172	20	△ 2,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,663	△ 1,388	1,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 13	△ 14
現金及び現金同等物の増加額	3,058	513	1,991
現金及び現金同等物の期首残高	11,067	13,058	11,067
<b>現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	<b>14,126</b>	<b>13,572</b>	<b>13,058</b>

### ■ 配当総額の推移



## 会社概要

■ 商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
■ 設 立	1955年6月1日
■ 資 本 金	11,899,867,400円
■ 従 業 員 数	連結 2,209名 単独 864名

## 役 員

代表取締役社長最高執行責任者	筆 谷 高 明
代表取締役専務 専務執行役員	中 井 一 喜
取締役 常務執行役員	安 岡 嘉 宏
取締役 常務執行役員	高 島 義 典
取締役 常務執行役員	熊 沢 紀 博
取締役 執行役員	高 橋 和 也

執 行 役 員	西 川 柳 一 郎
執 行 役 員	西 田 正 和
執 行 役 員	林 篤 昌
執 行 役 員	杉 本 治 己
執 行 役 員	中 西 利 寿
執 行 役 員	米 田 卓
執 行 役 員	則 光 健 男
執 行 役 員	堀 本 昇
常 勤 監 査 役	植 山 友 幾
監 査 役	岡 本 太 郎
社 外 監 査 役	道 上 明
社 外 監 査 役	楠 守 雄

## 株式の状況

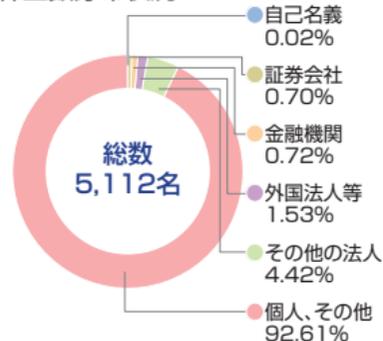
- 発行可能株式総数 170,950,672 株
- 発行済株式総数 42,737,668 株
- 株主数 5,112 名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,973	4.6
株式会社三井住友銀行	1,600	3.7
日本スタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託みなと銀行口)	1,498	3.5
極東開発共栄会	1,231	2.9
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,218	2.9
宮原 幾男	1,141	2.7
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	1,012	2.4
極東開発従業員持株会	952	2.2
シービーエヌワイティエイフインターナショナルキャップ(リビューフォリオ)	915	2.1
日本スタートラスト信託銀行株式会社(トヨタ自動車口)	837	2.0

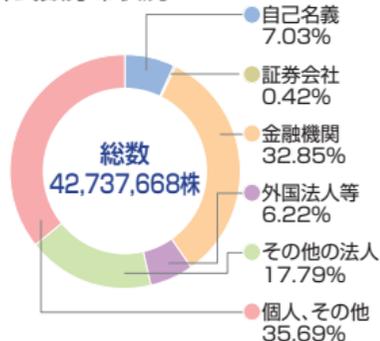
(注) 当社は自己株式を 3,005 千株 (7.0%) 保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式分布状況

株主数分布状況



株式数分布状況



## 株価・売買高の推移



# 株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末 3月31日

中間 9月30日

公告方法 電子公告

当社ホームページにて掲載

(<http://www.kyokuto.com/>)

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502

大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

TEL 0120-094-777(通話料無料)

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

大阪証券取引所市場第一部

## <ご注意>

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:[kkkikaku@kyokuto.com](mailto:kkkikaku@kyokuto.com)